

教科名	情報	単位数	2単位	担当者	東原昭博
科目名	情報Ⅰ	年次	2年次		笹原竜矢 水谷省一 野崎大三 中川史子
使用教科書 副教材等	高校情報Ⅰ 新訂版(実教出版) 高校情報Ⅰ 新訂版 学習ノート(実教出版) ベストフィット情報Ⅰ New Edition(実教出版)				
1 学習の到達目標(育成すべき資質・能力)					
<p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 理解を深め技能を習得 するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p>					
2 学習の評価(評価規準と評価方法)					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力, 判断力, 表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている		
主 た る 評 価 方 法	・実習課題(レポートを含む) ・定期考査	・実習課題(レポートを含む) ・定期考査	・実習課題(レポートを含む) ・定期考査 ・ワークシート ・学習の振り返りシート		
占 め る 割 合 に	40 %	30 %	30 %		
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

学期	学習内容 (単元)	主な教科の観点			単元(題材)の評価基準	評価方法
		a	b	c		
後期	第4章 プログラミングと シミュレーション 第5章 ネットワーク情報システム 第6章 データの活用	◎	◎	○	【知識・技能】 ・アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し、技能を身につけている。 ・社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解している。 ・情報通信ネットワークのしくみや構成要素、プロトコルの役割および情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。 ・情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供するしくみと特徴について理解している。 ・データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し、技能を身につけている。	実習・レポート 定期考査
	【実習 C】 表計算ソフトの活用(2) ・データ分析 ・シミュレーション				【思考・判断・表現】 ・目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善している。 ・目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果をふまえて問題の適切な解決方法を考えている。 ・目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えている。 ・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えている。 ・データの収集、整理、分析および結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善している。	実習・レポート 定期考査
	【実習 D】 プログラミングの基本 ・Python ・Pythonによるシミュレーション				【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な問題を解決するプログラムやシミュレーションの結果をもとに、試行錯誤しながら評価し改善しようとするなどを通して、情報社会に主体的に参画しようとしている。 ・情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。 ・データを多面的に精査し、情報システムが提供するサービスを効果的に活用しようとしている。 ・情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。	実習・レポート 定期考査 振り返りシート
	【実習 E】 プログラミングの応用					